



白香

辰年 卯を辰り元日すーてりゆ  
まはしーのまをれを

辰のくちつるゆてはーまのま

初とーや願くはま 草の祝

福鏡や生るはく乃心もち

上りの丸くむのま 鏡まち

書初や繪せまもも 序

けり子され楽ーらや御をめ

初宮のまかーもはるり呼の勢

○

民はまもともり子の日の遊む

養護や言もあるま集の事一斗

まあー人の醒るふとまーまのま

初玉あまき地山家のみまをま

能之はまのままをまをまのま

心あらまのまをまをまのま

辰の初日

初更

書初

白香

七十一更

鷗沖

路中

樹之

閑魅

紫雨

宜雲

安舟

半村

分急

折葉

甘原

適朗

玉急

